

平成山鉾

今年の平成山鉾は、戦国時代最後の
大合戦として知られる大坂の陣を
題材に制作致しました。外題は「大坂
の陣、真田丸激闘の場」天下統一を成
し遂げた徳川家康を豊臣家再興を目
指す豊臣秀頼・真田幸村らの間で繰
り広げられた、激戦の場を表現してい
ます。

また、本作品には山鉾文化への敬意
と、地域の発展を願う平成山鉾振興
会の想いも込められています。平成
山鉾が描く壮大な歴史絵巻をごゆっ
くりご覧いただき、日田祇園祭の華
やかなひとときをお楽しみください。
平成山鉾は、大和町和風料理「海王
館」横の駐車場に展示しております。



日田祇園囃子

日田祇園において神事の風情を現
しかつ威勢をつけるためのお囃子で、
笛、太鼓、三味線の音色で山鉾巡
行に華を添えます。

曲目は江戸から昭和初期にかけて
流行した端唄・俗曲を、山鉾の囃子
にアレンジしており、山鉾巡行の為に
日田の庶民が生み出した素朴なお囃
子です。

現在は保存会が結成されており、
古くから伝わる伝統の音色を継承して
います。手作りの篠笛による独特の音
色をお聞きいただきたいと思ひます。



今年の平成山鉾の運行日は7月25日(土)、夜8時から開始を予定しております。ぜひ皆さま、夜の幻想的な平成山鉾を見にお越しください。

日田祇園の歴史・概要

日田における祇園信仰は、およそ500年前に悪疫鎮護の願いを込めて始められ、正徳4年(1714年)には、現在のような山鉾が奉納されてきました

祭神は素盞鳴尊(すさのおのみこと)。豆田八坂神社・隈八坂神社・竹田若宮神社の三社の祭礼行事で、平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

これらの山鉾は、全て町内の皆さんの手作りによるものです。毎年、歌舞伎や人形浄瑠璃の一場面を題材とした飾り付けが行われ、日田唯一の人形師「長嶋静雄さん」の手により、各山鉾に乗せられた人形に命が吹き込まれます。

平成28年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

祭礼への流れ

7月初旬

■小屋入り行事

作業始めとして祭に参加する
全員で御神酒上げを行います。

■色あげ作業

解体された山鉾の館等の色を
塗り直し、金紙を使った欄干の
金具等を貼り替えます。

■パイパイ染め

山鉾の高欄の両側に挿すパイ
パイを、塗料で染め乾かします。

2週間前

■車揚げ

木製の山鉾の車輪は、普段池
の水の中に沈められており、山鉾
の組立前に池から引き上げます。

■山鉾組立(飾り付け)

色揚げされた館や、車輪等が
組み立てられ、パイパイや手作り
の松ノ木、牡丹等を飾ります。

1週間前

■御輿洗い神事

■人形乗せ

各町内に振り分けられた華題
の人形を、人形師の指図の元に
山鉾に乗せます。

■山番

各山鉾の納所で夜警が始ま
ります。

■流れ曳き

山鉾のバランスや車の調子を
見るための試運転を行います。

■集団顔見世

流れ曳きの日に、豆田4基と
隈・竹田4基に平成山鉾を加えた
計9基の山鉾がJR日田駅前へ
集結します。

当日

■祇園祭典(土日2日間)

豆田地区、隈・竹田地区の各
地区ごとに山鉾が巡行されます。

翌日

■山鉾崩し

各町ごとに山鉾の解体や、祇園
山鉾会館への収納等の作業を
行います。

■仕舞い勘定

掛け振り帳で購入した物の支
払いや、山鉾に上がった清酒等
が清算されます。

■藪入り

打ち上げを兼ねて慰労が行わ
れ、一切の祭の行事が終わった
とされます。